

佐原聖家族園新聞

R3.4.15第144号発行
発行責任者：飯島広司
編集：宮内・藤原
實川・秋葉

世界中が驚愕した東日本大震災、原発事故から10年。当時の衝撃は「日本は終わりだ」との声が聞かれるほどでした。一瞬にして大事な人を失った方々、現在も元の生活を取り戻せず苦境に立つ方々を思うと、安易に「もう10年、まだ10年」と語れるものではありませんが、やはり「10」という区切りの年を迎え、思いを巡らせることも多々あったのではないのでしょうか。

地震・津波によって生じた目に見えるものへの恐怖。放射能という目に見えないものへの恐怖。その中で感じた人の強さ。実感した「絆」の意味。被災地の方々の思いには遠く及ぶものではありませんが、少なくとも私たちもいろいろなことを感じてきました。

今、私たちは新型コロナウイルスという新たな脅威の中にいます。一年を通じ、様々な対策を講じてまいりましたが、「これで大丈夫だ」と思いたい気持ちと「本当に大丈夫だろうか」という不安な気持ち。「絶対にウイルスを持ち込まない」という思いと、「このくらいなら良いのではないか」という気持ちの揺らぎ。誰もが心の中に、相反する感情を抱えて過ごしてきたことと思います。それでも、この一年を無事に過ごすことができました。これは、様々な対策にご理解ご協力をくださったご家族の皆様、どのような状況でも強い気持ちをもって感染防止を徹底した職員、そして何といたっても、この変化を受け入れてくれた利用者皆様の力の結集により生み出した大きな成果だと思えます。

困難が生じた時、私たちはその度に心を一つにすることの大切さを実感してきました。今もなおその渦中にありますが、状況は着実に改善しています。我慢の時期はもうしばらく続きますが、団結してこの難局を乗り越えていきましょう。

さて、例年よりも早い桜の開花とともに新年度を迎えました。継続して取り組まなくてはならない課題もありますが、先ずは、新鮮な気持ちで新たな一歩を踏み出し、毎日を伸び伸びと、そして生き生きと、笑顔のあふれる日々を積み重ねていきたいと思えます。

昨秋から開始した近隣のクリーン活動は、今年度も継続して実施させていただきます。ご近所の皆様とお会いした際には元気よく挨拶させていただきますので、気軽にお声掛けいただければ幸いです。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

園長 飯島広司



今年は集合写真が撮れず... 外観になりました。

ナザレの家かとり

みんなが集まる1枚を♪

新年度を迎え、ウグイスの鳴き声が聞こえ、桜が咲き花吹雪となって…。春を感じているこの頃です。

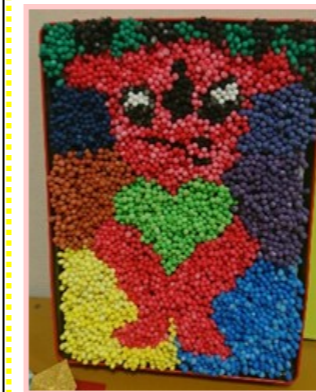
さて、グループホームの皆さんは感染症対策をしながら過ごしています。去年は近場の外出から遠出の外出、行事まで中止・自粛となってしまい思い返せば「思い出」を残していないな...とふと思いました。そこで各ハウスの利用者さん集合写真を撮ってみました。集合写真を撮る機会は外出した先で撮るくらいですが、行事ではなくてもみんなが集まる写真はとても素敵です。今年度も感染症に気を付けながら楽しく過ごしていきたいと思えます。宜しくお願ひ致します。

ナザレの家かとり 向後 瞳



木村さん作品展～素晴らしき綿棒アートの世界～

3月15日から31日まで、ひまわりに通所している木村英一さんの作品展をひまわり特設スペースで開催しました。2つに切った綿棒の綿の部分、水で薄めた絵具を濡らして、棒の部分が発泡スチロールに挿して作品にしています。（言葉で言っても伝わりにくいですが…）



木村さんは毎日集中して取り組み、作品も溜まってきたため、木村さんの誕生日である3月に開催する事となりました。作品展は20人近い来場者があり、「思っていたより凄い！」との感想をたくさんいただきました。

作品展は終了しましたが、一部の作品は、ひまわり玄関付近に展示してありますので、お立ち寄りの際はご覧いただければと思います。

ひまわり担当職員 逸見 諭



社会福祉法人 ロザリオの聖母会

さわら せい かぞくえん

佐原聖家族園

〒287-0027 千葉県香取市返田323-1

TEL 0478-50-7117

FAX 0478-50-7118

佐原聖家族園E-Mail: s-kazokuen@rosario.jp

ロザリオE-Mail: honbu@rosario.jp

ロザリオHomePage: <http://www.rosario.jp>

編集後記

今年は桜がいつもより早く咲いてしまったので、今はもう散ってしまいましたが、佐原聖家族園の皆さんは元気に過ごしています。新年度に入り、人の入れ替わりがありますが、利用者の皆さんの笑顔と健康を守り気持ちを新たに頑張っていきたいと思えます。

<秋葉>

職員の異動・退職のお知らせ

ありがとう
ございました

退職 阿部 智未

皆さんとお別れする時が来てしまいました。どんな出逢いであっても、必ず意味はあると思い出逢いを大事にしてきました。この10年で数えきれない出逢いがあり、その出逢いはかけがえのない財産となりました。この佐原聖家族園で皆さんと出逢えた事を心より感謝しております。

10年間ありがとうございました。



石毛 亘

私事ではありますが、3月いっぱい退職させていただく事となりました。法人で約11年、佐原聖家族園では4年間支援員としてお世話になりました。知的障害を持った方の支援は初めてで、最初は右も左も分からずに悩んだ事もありました。ですが、利用者の方々と関わっていくうちに楽しく仕事をしている自分に気づきました。時には笑い、時にはぶつかりあって充実した4年間を過ごす事が出来ました。自分は今から新たなスタートラインに立って、頑張っていくと思えます。佐原聖家族園の皆さんもコロナに負けずに元気に過ごして下さい。職員の皆さん・利用者の皆さん・ご家族の皆さん、本当に4年間ありがとうございました。お元気で!!



異動 平野 純

4月から『聖マリア園 デイサービス』へ異動となりました。10年という長い年月を楽しく過ごす事ができたのは、利用者さんご家族の方々からのご協力があったからだと思います。時には悲しい出来事や、つらいこともありましたが、皆さんと一緒に乗り越えることができました。皆さんとの思い出を胸に、新しい施設でも利用者さんの幸せのために頑張りたいと思えます。10年間ありがとうございました。



新職員自己紹介



伊藤 康史

4月から聖マリアデイサービスセンターから異動してきました、伊藤康史と申します。趣味は、海釣りです。皆様と楽しく過ごして行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



高田 昂

4月に佐原聖家族園の支援員となりました高田昂です。知的障がい者の方への支援に興味を持ち、入職しました。茨城県つくば市出身で、趣味は散策とアイリッシュ音楽です。先日、園の周りを散策した際に自然の豊かさを感じる事ができ、とても嬉しかったです。皆さまに信頼して頂けるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

スプリングパーティー

